── 令和4年12月25日発行（No.284）──

ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行　**ふるさと上越ネットワーク事務局**
〒101-0064　東京都千代田区神田猿楽町 2-1-2
TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106
●本庁担当：上越市自治・市民環境部　共生まちづくり課
〒943-8601　新潟県上越市木田1-1-3
TEL.025-520-5680 FAX.025-520-5853

ホームページ⇒ ふるさと上越

夷浜　朝日　撮影　渡辺信行さん

「たより」No.284　目次

会員数とふるさと市場報告 …… 1
Ｊネットの活動とお知らせ …… 2
同窓会・郷友会コーナー …… 3
とれたて上越 …… 3
　上越の行事・展示会
上越の話題 …… 4
　上越市に新名物が誕生！その名も「さかきん鍋」　渡辺真守
上越カフェ巡り（その 5） …… 4
いしずえ上越 …… 5
　旅情のまち・直江津の魅力紹介とライオン像のある館　（その１）
　地域住環境建築研究所　代表　磯田一裕
特別寄稿 …… 6
　11 月 8 日の皆既月食（442 年ぶりの現象も）　宮下隆明
上越産品販売のお知らせ …… 7
鯉橋師匠高座予定 …… 7
俳句ひろば …… 7
上越市からのお知らせ …… 8
Ｊネットからのお知らせとお願い …… 8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」では、「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

（1） 会員は 602 名 (12 月 20 日現在）です。（令和 4 年度目標 610 名）

（2）「ふるさと市場」の販売取次状況（令和 4 年 11 月）　187 点　231,823 円　（前年同月　71 点　110,990 円）

Jネットの活動とお知らせ

1. サロンは、12 月 8 日にオンラインで開催

次回は、令和 5 年 1 月 12 日（木）次々回は令和 5 年 2 月 9 日（木）。ぜひご参加下さい。

12 月の恒例のサロンも、オンラインながらも、アルコールとつまみを片手に和やかに開催されました。

直江津平和公園を訪問したことから日豪両国捕虜収容所や紫の桜ジャガランダ等の豪州駐在の思い出、京のおもてなし文化など京都奈良旅行での新たな発見、魚住さんからは話題のきくらげベースの石炭ボール発売、サッカー日本チームの新たな世界、上越市ふるさと納税返礼品「さかきん発酵鍋」がとびっきり美味しかったことなど話題は尽きない。会員さんの多岐にわたる豊かなご経験や活動を味わう集まりとなった。

ご参加のみなさん

【次回以降のサロン】

サロンは、毎月第 2 木曜日に開催します。

1 月 12 日（木）17：15 － 19：00、オンラインでの開催を予定しています。

全国どこからでも参加でき、アルコール片手に中座も自由、勝手なことを勝手に言える集まりです。初参加大歓迎。ご参加は超簡単、届いた URL をクリック 2 回で参加できます。

ご照会やご参加は、事務局宮里 k.miyazato@araipt.co.jp　TEL03-5244-5138 までお願いします。

【有志による対面懇親会】

対面サロン再開については、照会や催促をいただいています。毎月の運営委員会でも検討していますが、コロナウイルス感染数が高水準にあり、当面は無理と判断しています。

一方で、年明けには、感染症対策の下、一部有志により、対面懇親会（1 ～ 2 月頃開催）の企画があります。ご参加を希望される方は、事務局宮里までご照会ください。

2. 近畿サロン（懇親会）はリアル会合

12 月 10 日（土）、ガーデンシティクラブ OSAKA にて、参加者数を限定し着席にて開催。

当会としても、3 年ぶりのリアル会合でしたが、当会に興味を持つ非会員も交えて、上越と当会の話題を中心に、和気あいあいの大盛上がり。

近畿サロンご参加のみなさん

上越地酒 3 本の勢いが加わったうえ、参加者同士の 60 数年ぶりの感動的な再会というサプライズもあって、会場は終始、楽しさと元気であふれんばかり。そして、非会員の皆様全員はこの日から会員となりました。ふるさとが上越でよかったとは参加者の言。

3. 当会創立 25 周年記念誌の発行と記念品のクリアファイルをお届けします。

本年の創立 25 周年記念事業として、当会創立 25 周年記念誌を発行しました。ご寄稿などご協力、まことにありがとうございました。

上越の情景で飾ったクリアファイルとともに本たよりに同封にてお届けしますのでご覧ください。

4. いま旬のホームページ（ＨＰ）をご覧ください。https://joetsu.gr.jp/

おかげさまで、ＪネットＨＰの閲覧は、国内、海外を合わせて大きく増えております。内容も、上越市の四季の写真他、次のように掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

・お知らせ：上越関連 TV 放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店などの話題。
・「たより」：全頁カラーで過去 2 年分を掲載。・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
・他ＨＰへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員 7 社のＨＰ。

Ｊネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン（ＪＣＶ）の動画を閲覧できます。
上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
② 「ログインはこちら」をクリックし各社のＨＰへ
③ 下記のＩＤ・メールアドレス・ＰＳＷにてログインしてください。

同窓会・郷友会コーナー

東京新潟県人会　令和 5 年新年祝賀会

東京新潟県人会は、令和 5 年 1 月 28 日（土）、ホテル椿山荘東京にて、3 年ぶりの新年祝賀会を開催します。コロナ禍の折、参加者は会員に限定。

とれたて上越

1. 上越の行事・展示会

⑴ 第 98 回高田城址公園観桜会　主催：上越観光コンベンション協会

令和 5 年 3 月 29 日（水）～ 4 月 12 日（水）

高田城址公園と周辺で約 4000 本の桜が咲き、3000 個のぼんぼりに映し出される高田城三重櫓。
日本三大夜桜の一つです。
開催内容は、詳細決定次第発表されます。また、開花状況により、会期延長もあり得ます。

令和４年観桜会ポスター

⑵ 灯の回廊　2023 年 2 月 25 日（土）17 時～ 21 時　（予定）

安塚区・大島区・浦川原区・牧区・高士地区・名立区の 6 区の沿道に約 10 万本のキャンドルが灯ります。子どもからお年寄りまで住民総出の大作品で、冷たい雪の世界が心を交わす温かい世界となります。詳細は未定ですが、照会は、上越市観光交流推進課　TEL 025-526-5111(上越市役所) まで。

上越の話題

上越市に新名物が誕生！　その名も「さかきん発酵鍋」！

岩の原葡萄園　渡辺真守

本格的な冬が到来。鍋が恋しい季節となりました。上越市に、凍えた体を温める、新しい名物が誕生しました。その名も「さかきん発酵鍋」です。

この鍋は、上越産（上越市・妙高市・糸魚川市）の酒かすを入れたスープに地元の発酵食品・野菜・魚介類などの具材を使用した鍋料理のことです。

鍋を考案したのは、地元有志で結成した上越発酵鍋開発普及実行委員会。活動の発端は、上越市は、食材豊富な地域ですが、お勧めの名物がなかなか無いということ。「それなら、これという名物を作ろう」そんな思いから、活動がスタートしました。

そこで着目したのが、上越市は、たくさんの美味しい発酵食品が味わえる「発酵のまち」であること。

しかし、このキャッチフレーズは、日本全国の市町村でも使用されており、差別化が必要。あまたある「発酵のまち」の中で、上越市唯一の特徴は何か、それは「発酵学の父」、故坂口謹一郎の出身地であることです。坂口謹一郎（1897 年～ 1994 年）は、東京大学名誉教授で「発酵学の父」とも称され、微生物のはたらきに着目し醸造・発酵学の礎を築き、バイオテクノロジーの草分け的な存在となった人物です。つまり「元祖」発酵のまちとも呼べる特徴が上越にあるのです。

そんな“発酵学の父・坂口謹一郎”と“発酵のまち上越”、この二つを掛け合わせて、約 1 年間の開発期間を経て、誕生した名物が、「さかきん発酵鍋」です。「さかきん」とは、坂口博士の愛称のことです。

令和 4 年 9 月 30 日、さかきん発酵鍋の完成披露会を実施し、上越市長や衆議院議員、市議会議員、観光コンベンション協会、そして一般市民等が出席。同時に上越地域の 7 店舗で提供を開始しました。

今この鍋は市内外から大きな注目を集めており、NHK 等様々なメディアが取り上げているほか、提供飲食店も増えています。

一部の有志のみで始まった取組は、大きな盛り上がりを見せています。

帰省の際には是非、さかきん発酵鍋をご賞味ください。

上越カフェ巡り（その5）

前にも 2 度ほど行ってるのですが、昼は特にすぐに満席になり、入れませんでした。

2018 年 3 月、日本最古級の映画館「高田世界館」の“隣”に、築約 90 年の町家を改装したカフェ「世界ノトナリ」がオープン。できたときは、本当に良い場所に登場したと思いました。（個人的には近所なこともあり）

見終わった映画の余韻に浸りながら、挽きたての豆で入れたコーヒーやこだわりの紅茶と共にケーキ各種などのスイーツが味 わえます。ランチは、手作りハムのサンドイッチやキーマカレーなどが人気です。

写真は共同オーナーで料理担当の佐藤さん。お茶をしてる間にも、新しいケーキが焼き上がり、良い香りがしました。遠方からのお客様もいらしたようです。

（小坂 恵美 記）

～世界ノトナリ～　営業時間 10:00 ～ 17:00　定休日　月・火

〒 943-0832 新潟県上越市本町６丁目４－１９

TEL 025-512-4982　（駐車場 店舗裏 / 高田世界館共有）

旅情のまち・直江津の魅力紹介とライオン像のある館　（その１）

まちづくり及び統括専攻建築士　地域住環境建築研究所 代表　磯田一裕

直江津生まれ、上越育ちの磯田一裕 と申します。今回わがまち上越の「直江津のまち」の魅力紹介を 2 回に分けてお話させて頂きます。

■直江の津は砂丘の上にできた町

私たちのまち直江津は奈良時代は水門、平安時代には直江の津（浦）と呼ばれ、室町・江戸時代には今町湊として 海陸物産の集積地として栄えていました。この町の中心は、古い砂丘の上にあったため道路の直線距離が短く、坂道、十字路、Ｔ字路がいくつもあり、まるで迷路のようなまちの骨格を持っています。そのため、街中を歩いていると思いがけ ない風景や不思議な街並み、静かだが生活感のある路地空間などがあり、日本海の湊町の旅情漂う風情があります。 またライオン像のある館など歴史が歴史的建造物や大火の多かった直江津ならではの土壌造りの寺院や建物が多く残されており、時代時代におけるまちの歴史が折り重なるように残された魅力に富んだまちなのです。

■直江の津エリアの魅力

①直江津市民の台所 100 年続く「三八朝市」皆様も御存じの「三八朝市」は三と八の付く日に開催されている定期市で長さ 300 m の道を通行止めにして両側 に露天商が立ち並びまちに活気と賑わいを創出しています。 三八朝市の特徴は鮮魚や海産物、そして近郊の中、山間地の山菜などを売るお店が多く見られ、また名物のどら焼き（大判焼き）店では行列のできるほどの人気です。三八朝市は観光客向けの市ではなく、地域の生活に根付いた気さくな会話が楽しめる人情味豊かな朝市です。

三八朝市

②旅情あふれる不思議な街並みと路地（小路）空間 直江津は砂丘の上にできた街。 路地（小路）を入るとまるで迷路に迷いこんだような不思議な感覚にとらわれます。 街並みの特徴は日本海の風雪に耐えながらもこの地で生活していく工夫に満ちた建築デザインや、路地の先に見 える切り取られた絵画のような景観が特徴的です。

二段の道路

砂丘の上の街並み

妻壁が美しい雁木のある町家

③歴史に残るさまざまな物語や史跡 直江津は日本列島のちょうど真ん中！西と東、北と南の文化がこの地で出会い交わったところであり、1300 年前の昔から人とモノとの交流都市でした。そこには様々な歴史に残る物語が数多く生まれ、また史跡も残されています。 謡曲「竹の雪」の舞台跡にある真行寺、「義経記」に登場する観音寺、「奥の細道」の旅で松尾芭蕉が訪れた「聴信寺」や句碑、森鴎外の「山椒大夫」で有名な「安寿と厨子王の供養塔」、「放浪記」の旅で林芙美子が、また与謝野晶子 もこの地を訪れ、歌を読んでいます。

安寿と厨子王の供養塔

義経記に登場する観音寺

以下、（その 2）は、次号に続きます。

11 月 8 日の皆既月食（442 年ぶりの現象も）

宮下隆明 (旧高田市出身　神奈川在住)

11 月 8 日（火）の皆既月食の写真を「たより」11 月 25 日発行の 283 号に掲載いただきましたが、説明文字が殆ど見えないものになってしまいました。事務局から「再掲したいので説明文とともに」というお話をいただきましたので、拙文を寄稿させていただきます。

皆既月食は、2010 年以降でも日本で見えたはず（天候次第）のものが 10 回あり、さほど珍しいものではありませんが、11 月 8 日（火）の皆既月食は特に関東地方では好転に恵まれ比較的条件の良いものでした。また、皆既中の月に天王星が隠れるという惑星食が 442 年ぶりに観測されました。

442 年前はいうと 1580 年（安土桃山時代）で、土星食が起こった筈というものです。ガリレオ・ガリレイが、1608 年にオランダで発明された望遠鏡を自作して月を観測したのが 1609 年ですから、それ以前の現象のため望遠鏡の無い時代に肉眼で見た人がいるかもしれない、といったところです。

土星（等級 0）は天王星（最大等級 +5.6）に比べれば約 100 倍明るいので、肉眼でも良く見えた筈で、月の裏側に隠れた土星を見て急に無くなったと感じた人がいたかもしれません。計算によると、次回は 322 年後の 2344 年に皆既食中に土星食が観測されるとのことですが、残念ながらちょっと先すぎます。

掲載の写真は、左側が部分月食から皆既月食に至るまでの経過、中央が皆既中（連続写真に比べ月を約 5 倍の大きさにしてあります）、右側が皆既から部分月食に戻る経過を示しています。デジタルカメラが開発される前は、フィルムカメラを使って連続写真を一枚のフィルムに撮影していました。それも、フィルムを動かさないでシャッターをチャージする特殊なカメラを使って多重露光をする必要がありました。また、刻々と変わる月の明るさを正確にフィルムに露光するための計算をするなど結構大変でした。

私が、そのような写真を撮り始めたのは何十年も前の中学生〜高校生の頃でしたので、いま思うと良くやっていたなと感じます。

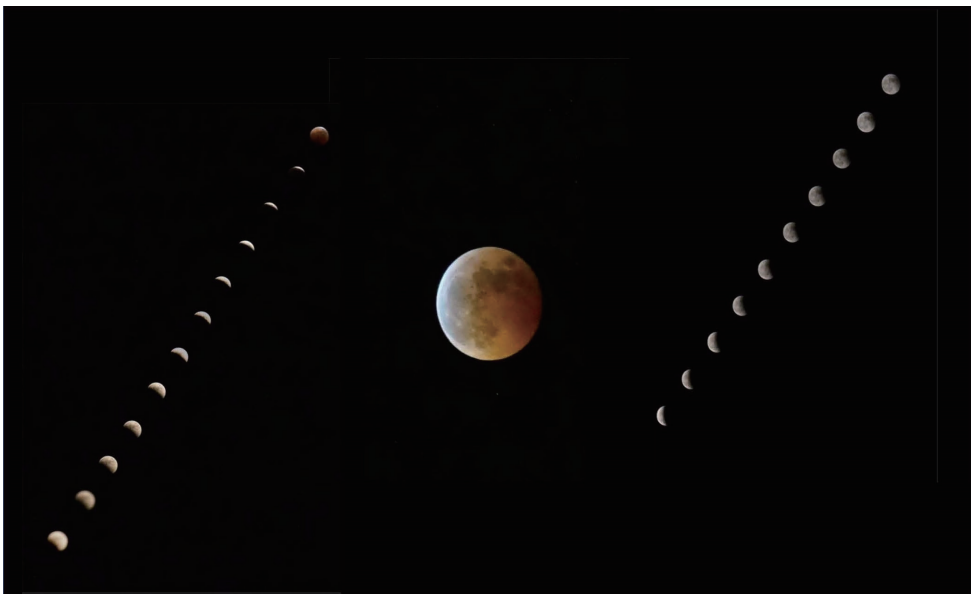
筆者は連続写真の撮影に追われ、天王星食の撮影まで手が回りませんでした。

以下の URL で天王星食の動画も公開（国立天文台）されていますのでご参照ください。

https://www.nao.ac.jp/news/blog/2022/20221110-lunar-eclipse.html

デジタルカメラ が使えるようになってからは、多重露光の必要は無く、個別に撮影した写真（画像）を PC のソフトウェア（「比較明」という名称で知られていますが、画像の明るい部分のみを抽出して合成してくれるもの）を使えば簡単に連続写真を構成できます。

①月食の食分（月が地球の影の中に入り込む程度（影で覆われる月の直径の度合 い））に応じて必要な露光時間（露出）を変える、②撮影間隔を正確に守る（撮影間隔を 5 分程度に設定すると綺麗な配置に見えますが、最大でも撮影時刻のズレを 5 秒程度に収めないと間隔が不揃いになってしまいます）、③カメラは三脚に固定し決して動かさない、などに注意すれば同じような連続写真を撮影することができます。



部分月食から皆既へ　　皆既月食　　皆既から部分月食へ

次回、日本で見える皆既月食はちょっと先になり 2025 年 9 月 8 日です。ご興味があればチャレンジしていただくのも良いかと思います。その次は 2026 年 3 月 3 日です。

上越産品販売のお知らせ

● **Ｊネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。**

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（Ａ４判１枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

● **上越特産市場**　上越市運営による、上越農林水産物･特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php」からご覧いただき、お申込み下さい。

● **新潟・上越妙高「うまさ直送！雪国マルシェ」**　商品内容は決まり次第、Ｊネット HP に掲載します。

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は下記にて予定しています。
日時　１月 28 日（土）、同 29 日（日）・２月 25 日（土）、同 26 日（日）
会場　有楽町交通会館１Ｆピロティ　開業時間 11：30--17：30

お問合せ：JCV 東京情報センター
03（5218）7730

● **常設店舗　「雪國商店」**　場所　有楽町交通会館１Ｆ　営業時間　11：00 － 19：00　年中無休（年末年始は休業）

瀧川鯉橋師匠　出演予定

鯉橋：090-4730-9032　rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp（鯉橋メール）

◇ 1/5(木) 新春国立名人会
時 間：午后 1 時～ 4 時　木戸銭：3800 円 (学生 2700 円) 全席指定
出 演：松本源之助社中 (寿獅子)、兼好、鯉橋、陽子、おぼん・こぼん、夢太朗　お仲入り－鯉昇、好楽、マギー司郎、遊三
（以上出演順）会 場：国立演芸場 (半蔵門または永田町)
お問合せ：03-3265-7411(国立演芸場〈代〉)

◇ 1/9(月・祝) 鯉橋独演会～鯉のつなわたり・その 18 ～
時 間：午后 5 時～ 7 時　木戸銭：2000 円 (前・予 1800 円)
出 演：鯉橋「笠碁」他一席、小泉ポロン (マジック)
会 場：お江戸日本橋亭 (三越前)、お問合せは鯉橋まで。

◇ 1/16(月) グリーンホール八起寄席
時 間：午后 6 時半～ 8 時 45 分　木戸銭：1800 円 (65 才以上 1200 円)
出 演：談修、鯉橋、兼好、文菊　会 場：相模女子大学グリーンホール (相模大野)　お問合せ：042-749-2200(グリーンホール)

◇ 1/22(日) 鯉橋の落語でひとやすみ (第 39 回)
時 間：午后 4 時～ 5 時半　木戸銭：1000 円

◇ 1/29(日) 梶原いろは亭「なかよしおじさんズ」
時 間：午后 1 時～ 3 時　木戸銭：2500 円
出 演：鯉橋、小助六、夢丸
会 場：梶原いろは亭 (北区上中里 3-1-4)
お問合せ：03-6322-1622(いろは亭)

◇ 1/31(火) 七人の侍＝流浪の落語勉強会＝
時間：午后 1 時～ 3 時半ごろ　木戸銭：1500 円
出演：枝太郎、楽生、鳳志、鯉橋ほか
会場：お江戸日本橋亭 (三越前)

☆ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～
https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194 もぜひご覧ください。　鯉橋拝

俳句ひろば

上越市からのお知らせ

●「上越で働く」U・Iターン個別相談会の開催　募集人数：6人程度

U・Iターンに伴う、仕事を中心とした暮らし全般に関する個別相談会を開催します。
ご家族やお知り合いに、U・Iターンを検討している方がおられましたら、ぜひご紹介ください。
日時：令和5年1月28日（土）午前10時～午後5時（1人45分間）
場所：「Zoom」を使用し、オンラインで開催
☆**申込締切：1月20日（金）**

個別相談会
二次元コード

●上越市ふるさと暮らしセミナー

『趣味から探した私の移住地　大自然を楽しもう！』の開催　募集人数：20人程度

上越市での暮らしの魅力や情報をU・Iターンを検討する皆さんにお伝えするセミナーです。
今回は、海や山で趣味を楽しむゲストから、移住地探しや今の暮らしぶりなどをお話しいただきます。
日時：令和5年2月8日（水）　午後7時～午後8時　場所：「Zoom」を使用し、オンラインで開催
対象：上越市へのU・Iターンを検討している人

♪フリートークの時間もあります。
みんなで楽しくおしゃべりタイム！移住に対する不安や疑問、ゲストにあれこれ聞いちゃいましょう！
もちろん「上越市ってどんなところ？」という質問もOKです。気軽にお話ししましょう。
☆**申込締切：2月6日（月）**

上越市ふるさと暮らしセミナー
二次元コード

☆**申込先 / 電話（025-520-5674）またはメール（jichi-chiiki@city.joetsu.lg.jp）で、自治・地域振興課へお申し込みください。**

●ふるさと納税の取り組みを拡充しました

上越市では、ふるさと納税を受け付けています。令和4年8月より、ふるさと納税ポータルサイトの活用を開始するとともに、上越産品の魅力発信と需要を高めるため、様々な産品を寄附に対するお礼の品に追加しました。『**ふるさと上越**』への温かい応援をお願いいたします。

【参加しているポータルサイト（6サイト）】

・ANAのふるさと納税　・さとふる　・ふるさとチョイス
・JREMALLふるさと納税　・ふるぽ　・楽天ふるさと納税

上越産の美味しいお米もたくさんご用意しています。

「えちごトキめきリゾート雪月花（せつげっか）」お食事付プラン乗車券もご用意しています。

【主なお礼の品】

① 上越市への来訪機会を創出するもの
・市内飲食店食事券（料亭、ワイナリー、寿司店等）・市内宿泊施設利用券（温泉宿、ゲストハウス等）
・体験サービス（施設貸し切り、市内観光プラン、観光列車乗車券、墓参り、掃除、草刈り、新聞定期購読等）
② 食料品　米、餅、味噌、菓子、野菜、果物、肉、酒類（日本酒、ワイン等）、お茶、その他飲料品、さかきん発酵鍋　等
③ その他　工業製品、雑貨など

照会先：用地管財課　財産運用室（電話：025-520-5642）

「ウクライナ難民を支援する市民の会」より御礼状が届きました。

「たより」7月25号にて同会発足を掲載しましたが、同会には、9月末までに個人52名、40法人から251万円の寄付が寄せられました。経費を差し引いた224万円が、国連難民高等弁務官事務所（UNHC）を通じ、ウクライナ難民の支援に充てられます。Jネットからも把握できるだけでも6名以上の会員より寄付があり、同会より、Jネット会員の義の心に感謝する御礼状が届きました。

【訂正とお詫び】前号のサロン報告の中で「422年ぶりの皆既月食」の記述は誤りで、正確には「惑星も隠れた皆既月食は442年ぶり」です。訂正し、関係各位にお詫びいたします。

Jネットからのお知らせとお願い

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の思い出やご経験、上越魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。　送信先：k.miyazato@araipt.co.jp

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和5年1月25日の発行です。